

所 属・職 位	医学部医学科精神神経医学講座・教授	
氏 名	寺尾 岳 (Terao Takeshi)	
取 得 学 位	博士 (医学)、産業医科大学、1992年7月	
SDGs 目標	 	

研 究 分 野	精神神経科学
研究キーワード	双極性障害、リチウム、臨床精神薬理、リワーク、実存的アプローチ
研 究 内 容	●リチウムと自殺予防に関する研究：リチウムには気分安定作用以外にも衝動性や攻撃性を抑える作用があって、気分安定作用を発揮する濃度よりもずっと低い濃度つまり微量でも効果があることがわかってきました。そこで、水道水に含まれるリチウム濃度と自殺率の相関を、大分県→九州→全国とフィールドを広げ調査し、水道水リチウム濃度が高い地域は自殺率が低いことを突き止めました（論文1）。特に、大分県における研究は英国BBCのWorld Newsで取り上げられました。（関連リンク：http://news.bbc.co.uk/2/hi/health/8025454.stm） ●気分障害から認知症へ移行する疾患に関する研究：「うつ病→双極性障害→認知症という経過を、偶発的にではなく、必然的にたどる特異的な一群が存在し、その背景にGSK-3が関与している」という仮説を考え、最近報告しました（論文2）。この仮説が正しければ、この一群がいわゆる疾患単位として成立し、Mental GSK-3 diseaseと呼称できるのではないかと考えています。 ●実存的アプローチに関する研究：実存哲学に基づく精神療法を研究しています（論文3）。 ※詳細、その他研究関連リンク：https://www.oita-u-psy.jp/research/index.html
研 究 業 績・アピールポイント	●科研 基盤研究C（研究代表者） 2021～2024年「うつ病から双極性障害を経て認知症に進展する一群におけるGSK-3遺伝子多型の関与」 2018～2020年「双極Ⅰ型障害とⅡ型障害の違いに着眼した画像所見や薬物反応性の比較研究」 2015～2017年「気質から見た双極性障害の病態進展と治療反応性の予測」他2課題 （関連リンク：https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000080217413/） 他公的研究助成11課題、民間研究助成獲得 ●論文 - Kugimiya T, Ishii N, Kohno K, Kanehisa M, Hatano K, Hirakawa H, Terao T. Lithium in drinking water and suicide prevention: The largest nationwide epidemiological study from Japan. <i>Bipolar Disord.</i> 2021 Feb;23(1):33-40 - Terao T, Ishii N, Hirakawa H. A specific group of patients with diagnostic conversion from depression to bipolar disorder and finally to dementia as a mental GSK-3 disease: A hypothesis. <i>Bipolar Disord.</i> 2020 Jun;22(4):356-359. - Sakai A, Terao T, et al. Existential and Mindfulness-Based Intervention to Increase Self-Compassion in Apparently Healthy Subjects (the EXMIND Study): A Randomized Controlled Trial. <i>Front Psychiatry.</i> 2019 Aug 2;10:538.他多数 （関連リンク：https://www.oita-u-psy.jp/achievement/251/） ●著書 2020年. 精神科薬物療法に再チャレンジ 2020年. 精神科とは無縁と思っていたあなたが困ったときに精神科を味方につけるための本 2019年. 双極性障害の診かたと治しかた-科学的根拠に基づく入門書 他多数 （関連リンク：https://www.oita-u-psy.jp/book/） ●受賞 1998年. 日本臨床神経精神薬理学会海外研修員派遣制度基金受賞